

## 第4回森林の仕事語るシンポジウムについて

### 1 目的

森林・林業基本法の制定により、日本の森林は「水土保全林」「森林と人との共生林」「資源の循環利用林」と三つに区分され、それぞれの目的に応じた森林整備を目指すことになりました。画一的な整備ではなく、地域毎の特色を活かし、目的を持った森林づくりを行っていくために、林業技術職員として果たすべき役割は何か、基本に立ち戻り議論します。

### 2 概要

名 称	第4回 森林の仕事語るシンポジウム
日 時	平成16年3月10日 午後2時～5時
場 所	国立オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区代々木神園町3-1)
主 催	林野庁 / 豊かな森林づくりのためのレディースネットワーク・21
対 象	女性林業技術職員、一般参加者 80名
内 容	14:00 開会 14:10 第 部 基調講演 テーマ：地域に応じた森林整備を考える ～長野県でのフィールド調査報告を基に～ 講師：元信州大学農学部森林科学科助教授 馬場多久男氏 15:10 休憩 15:20 第 部 分科会 @第一分科会 水土保全林 災害に強い森林づくりのための林業技術と普及を考えます。 @第二分科会 森林と人との共生林 地域独自の貴重な植生を活かした、人にも環境にも優しいフィールド作りを考えます。 @第三分科会 資源の循環利用林 循環型社会に欠かせない木材。その様々な活用方法や、利用目的に応じた森林整備を考えます。 16:10 休憩 16:20 第 部 フロアーディスカッション 分科会報告(各分科会代表者) 助言者 馬場多久男氏 講評(林野庁研究普及課) 17:00 閉会